

研究課題名	SARS-CoV-2 患者の感染により得られた血清抗体と医療従事者の mRNA ワクチンにより得られた血清抗体を対象とした、流行株別 Spike タンパクを用いた In House の Direct ELISA 測定系による測定・評価を目的とした疫学的研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 特任教授 田中 純子
研究期間	許可日 ~ 2025年 3月 31日
対象者	<p>① 2020年5月から2023年3月の間に、先行研究 E-2026「新型コロナウイルス感染症の感染状況に関する血清疫学的研究」に参加した舟入市民病院の医療従事者の方</p> <p>② 2020年7月から2023年3月の間に、先行研究 E-2122「広島県の COVID19-指定病院における新型コロナウイルス感染症患者の入院中及び退院後の病態に関する研究」に参加した舟入市民病院入院患者さんで、COVID-19 感染が確認された退院後 1 か月でフォローアップ時に血液検査を実施された患者さん</p>
意義・目的	<p>主な目的は、SARS-CoV-2 mRNA ワクチン接種群と Covid-19 自然感染群の 2 つのコホートにおいて、SARS-CoV-2 に対する Ortho IgG レベルと相関する ELISA 結合能力に関して、自然感染による免疫とワクチンによる免疫を比較することです。</p>
方法	<p>本研究は、既に進められている 2 つの研究で得られた既存検体を用います。</p> <p>①の対象者については、先行研究で採取した血清（8 時点、: a) 1 回目の投与を受ける前、b) 2 回目の投与を受ける前、c) 2 回目の投与の 3 週間後、d) 1 回目の投与の 6 か月後、e) 3 回目の投与を受ける前、f) 3 回目の投与の 3 週間後、g) 4 回目の投与の前、および h) 4 回目の投与の 3 週間後。）の残余分を使用します。</p> <p>②の対象者についても、先行研究において退院 1 か月後に採取した血清の残余分を使用します。</p> <p>他に質問票による情報、カルテ情報を用います。</p> <p>いずれも、先行研究において個人を特定可能な情報を削除し、誰のものか分からないように加工された上で提供を受けた試料・情報を用いて解析します。</p> <p>利用開始予定日：本学における実施許可日(2022年11月21日)以降</p>
共同研究機関	ありません。(本学より他の研究機関へ提供することはありません)
試料・情報の管理責任者	広島大学 医系科学研究科 特任教授 田中 純子
個人情報の保護について	<p>すでにどの個人のものか特定できない状態で保管された試料・情報を使用するため、あなたの試料や情報等を特定することはできません。そのため、同意を取り消すこと、研究への参加を取りやめることはできません。調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p>

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5162

広島大学疫学・疾病制御学 職名 特任教授 田中 純子